

「令和7年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第2回）」
議事概要

I 日 時

令和7年9月16日（火）15：00～17：00

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階会議室1～3

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

鈴木 裕子（東陽監査法人 シニアパートナー 公認会計士）

竹腰 沙織（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

◎池田 浩之（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○鳥山 亜弓（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1）審議事項案件

- ① 9月から12月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）にかかる事前点検について
 - ② 4月から6月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
I : 隨意契約等における価格交渉状況
II : 一者応札・応募となった案件の次回改善策
III : 低落札率案件について
- （2）その他

V 議事内容

- （1）① 令和7年9月から12月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 令和7年4月から6月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
I : 隨意契約等における価格交渉状況

II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

III：低落札率案件について

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<ul style="list-style-type: none">今後は、コスト削減効果を勘案して複数年契約による調達を考えてもよいのではないか。予定価格に対する落札率48.8%に対し、実際の契約雑誌に絞った落札率は87.15%と、落札結果に乖離があり、当初予定した調達内容と異なるものを調達しているように見受けられるため、今後は内容に応じて調達方式を見直してもよいのではないか。	<ul style="list-style-type: none">次回調達時には既存インターネット提供業者からの1年契約及び複数年契約の見積、並びに他事業者へ切り替える場合の見積を取得し、コスト削減効果及び契約額の妥当性を確認の上、調達することとした。入札に付した競争性のある35誌のうち、27誌が落札された結果の落札率が87.15%であり、当初予定した調達内容と相違はなかったものである。競争性のない直販の雑誌は従来より入札から除いているが、過年度の実績を精査し、競争性がないと判断できるものがいれば、今後調達方法を見直してまいりたい。

(2) その他について

令和7年9月以降の調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。

以上